

いつまでも健康な体でどこまでも

けんしょうかい

健翔会だより

15 号

2013・4月1日

発行所

香川県坂出市川津町

(〒762-0025) 3329-14

医療法人社団 健翔会

堀口医院

TEL 0877-45-8686

◎本紙に関するご意見、ご質問がありましたら
お気軽にどうぞ！

<担当>高橋、青北

TEL 0877-45-8686 FAX 0877-45-8883

HP <http://www.horiguchi-hp.jp>



堀口 裕 先生

還元電子治療の誕生

1. 自然界の力

本当に早いもので、「還元電子治療」の臨床が始まって20年になります。

今でもそうなのですが、あれだけ長く苦しんでいた喘息が、転地療法であつという間に改善したり、あれだけ酷かったアトピーの皮膚が、食事療法でみるみるうちにきれいになったという話をよく耳にします。私たちは自然界の中で生まれ、自然界の中で生きています。だから病気を治す手立ても、きっと自然界の中にあるに違いありません。そう考えますと、空気や水や食べ物に気をつけ、また自然界にある草木や温泉を利用して病状がよくなることは、ごく自然なことです。しかし誰もが自然を活用して同じことができるわけではありませんので、身近に受けられる“自然界の医療”があつたらいいな～と、ずっと思っていました。

2. 人体の力

でも自然の何が病気の改善に重要なのが、最初分かりませんでした。それは、今では当たり前になっている“活性酸素”という言葉にヒントがありました。当時生化学の教科書にほんの少し載っているだけでした。その正体は、私たちの体の細胞がご飯を燃やして十分なエネルギーを作るとき、必ず呼吸から取り込んだ酸素を使うのですが、そのとき出てくる老はい物が“活性酸素”でした。この活性酸素をはじめとして細胞に溜まる老はい物こそが、いろいろな病気を引き起こす原因だったのです。そして自然界に生きる人体の細胞は、この老はい物を消すために空気や水、食べ物に含まれる“電子(でんし)”を巧みに利用していたのです。そんな事実から電子だけ十分に与える治療法があれば、きっと誰でも健康を回復し易いと思いました。それが「還元電子治療」の誕生につながったのです。

還元電子治療の役割

1. C型肝炎

はじめ「還元電子治療」は、細胞の老はい物を掃除するだけの役割と考えていました。あるとき還元電子治療をなさっていたC型慢性肝炎の患者さんの肝機能が、少しずつ改善していることに気づきました。そしてその患者さんの血液中のC型肝炎ウイルス量と免疫機能を調べましたら、ウイルス量はやや減少し、免疫機能はやや向上していました。これは還元電子治療によって免疫機能が高められ、そのためウイルス量が減少したためと思いました。

2. HIV(ヒト免疫不全ウイルス)

時期を同じくして、還元電子治療をなさっていたHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染している患者さんのウイルス量が、

顕著に減少していることに気づきました。そしてこの時も低下していた免疫機能が回復していたのです。でも考えてみますと、免疫機能は免疫細胞に支えられているわけですから、細胞の老はい物を掃除する還元電子治療が免疫機能を高めても何らの不思議はありませんでした。

3. 腰や膝の痛み

さらに、日頃から腰痛や膝の痛みがある患者さんに、ときに手足を捻挫した患者さんに還元電子治療を続けていると、痛みや腫れ(炎症兆候といいます)が徐々に消えていきます。これは先の肝機能の改善と合わせて考えますと、還元電子治療は“炎症(えんしょう)”を鎮める働きがあると思われます。

4. 電子の3大威力

かくして還元電子治療には①細胞の老はい物を掃除し、②免疫機能を向上し、③炎症を鎮めるという3つの働きがあることになります。実はこの3つの要素こそが“自己防御力”と呼ばれているものであり、自分の体に病気を出さないようにしている力のことなのです。最近では老衰の如く・・・という言葉が全く聞こえてこないのですが、自己防御力が磐石であるなら、きっと誰もが老衰の如く一生を終えることでしょう。

還元電子治療の将来

1. 健康を手に入れる

還元電子治療は電子(でんし)を与えるだけの治療です。決して病気そのものを治療する分けではありません。しかし体中の細胞を手入れし、自己防御力を高めれば必然的に健康を獲得しますので、病気は起こりにくくなります。

2. 癌と立ち向かう

この効果が最も発揮されやすいのが、癌治療であります。癌と診断されれば手術を受け、必要に応じて抗がん剤治療や放射線治療も行われます。これらの治療は日々改良され、また互の組み合わせにより治療成績が随分良くなっております。しかしその一方で、まだまだ体への負担が大きく、そのことが良い治療法であるにも拘らず回復を阻んでいると思われます。最近とても多い事例から、癌患者さんが手術や抗がん剤、放射線治療の1ヶ月ほど前から還元電子治療を使い始めていると、その後の経過がとても良好で、さらに継続して使っていると抗がん剤や放射線の副作用が随分軽減されることが分かってきました。患者さんから一番多く寄せられる声は、「ムカムカが少なく、食欲が落ちにくい」「抗がん剤投与が続けられる」などです。また癌に伴う痛みも少なくなったと言われます。いわゆるQOL(生活の質)がとても良いのです。

3. 現代医療を助ける

抗がん剤治療が順調に進めば、当然治療成績も上がると予想されます。実は手術、抗がん剤、放射線治療などは、多少なりとも「自己防御力」を悪化させるため、病気の体にさらに負担をかけることになります。還元電子治療は癌を治療することは出来ません。しかし現代医療に不可欠な補助治療であることは、間違いなくと思います。私は、その役割を担うことが「還元電子治療」の将来の姿だと思っています。

いろいろ豆知識

Q1. 高尿酸血症ってどんな病気？

A) からだの中の尿酸が多くなる病気です。

高尿酸血症そのものは、何の症状もありますが、
放っておくと痛風や腎障害を引き起こします。



定期的に尿酸値を測定することが大切です。

尿酸値

正常 → 7.0mg/dl 以下

高尿酸血症 → 7.0mg/dl を超える

Q2. 尿酸って何？

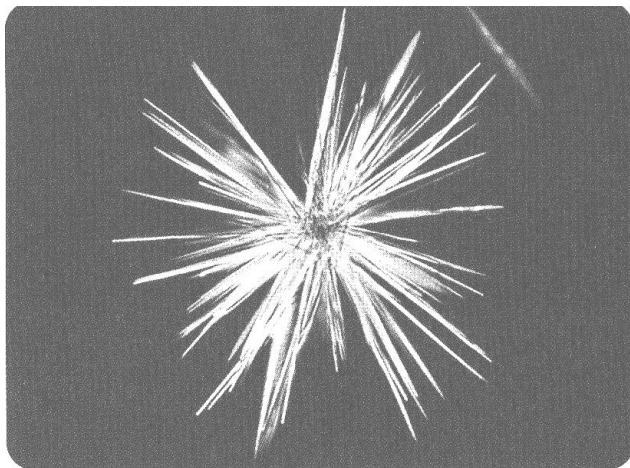
A) からだの中の老廃物です。

尿酸はからだの細胞の新陳代謝やエネルギーの消費によってできる老廃物なのです。

尿酸の元は「プリン体」という物質で、肉や魚などの食品中に含まれています。私たちの体内では、毎日このプリン体から尿酸が作られていますが、腎臓から尿に溶けて排泄されます。

※ 尿酸は増えすぎてしまうと結晶化し、体の色々な部分に沈着して害を及ぼします。

＜結晶化した尿酸＞



Q3. 痛風とは？

A) 尿酸の結晶が起こす病気です。

尿酸の結晶が関節に沈着して、赤く腫れあがり、激しい痛みを伴います。ある日突然起こり、放っておくと1～2週間くらいで治まりますが、そのままにしていると、数年のうちに必ず再発し、だんだん慢性化していきます。

Q4. どんな人が痛風にかかる？

A) 働き盛りの男性がかかりやすいです。

- 比較的几帳面で行動的なひと
- 仕事をバリバリやるひと
- アルコールをたくさん飲むひと
- 肉食を好むひと

最近では食生活の欧米化、体型の肥満化、ストレスの増加などで患者さんの若年化が進んでいます。

※ また痛風のなりやすさには遺伝的素因が多少関係しています。

Q5. 日常で気をつけることは？

①食事に気をつけましょう！

◎摂りすぎると痛風発作を起こしやすい物

- 肉類、内臓類（牛、豚、鶏）
- 魚介類（赤身魚、白身魚、エビ、カニ、タコ、イカ、貝類）

◎摂りすぎても痛風発作を起こしにくい物

- 野菜（干しいたけ、ひらたけ）
- 高脂肪乳製品

◎継続的に摂ると痛風発作の予防になる物

- 乳製品、低脂肪乳製品
- 植物性たんぱく（大豆など）

②お酒は控えめに

◎アルコールはどんな種類でも飲み過ぎると尿酸値を上げます。1日の飲酒量の目安は・・・

- ビール → 500ml
- 日本酒 → 1合
- スピリッツ → ダブル1杯
- ウイスキー → ダブル1杯

③激しい運動は避けて軽い運動を

◎激しい運動は逆に尿酸値を上げるので、軽いジョギング、散歩などがお勧め。

④水分をきちんと摂りましょう。

◎大量の汗をかいて、そのままにしていると血液が濃くなって尿酸値が上がったり、尿が濃くなって尿酸が溶けにくくなったりします。

⑤標準体重を保ちましょう。

◎肥満の人ほど尿酸値が高く、体重が下がれば尿酸値も下がっていくことが知られています。体重のコントロールに努めましょう。